



2020年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年2月12日

上場会社名 株式会社やまみ 上場取引所 東
 コード番号 2820 URL https://www.yamami.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)山名 清
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)林 辰男 (TEL)0848(86)3788
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日 配当支払開始予定日 2020年3月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第2四半期の業績(2019年7月1日~2019年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第2四半期	6,033	10.0	225	△55.7	233	△54.3	162	△52.3
2019年6月期第2四半期	5,482	3.8	508	2.2	510	3.2	340	6.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第2四半期	23.39	23.32
2019年6月期第2四半期	50.82	50.76

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第2四半期	15,676	6,293	40.0
2019年6月期	12,805	6,199	48.2

(参考) 自己資本 2020年6月期第2四半期 6,273百万円 2019年6月期 6,176百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期		14.00		10.00	24.00
2020年6月期		12.00			
2020年6月期(予想)				12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年6月期の業績予想(2019年7月1日~2020年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,600	6.6	311	△67.0	340	△65.2	694	1.4	100.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年6月期2Q	6,938,500株	2019年6月期	6,936,100株
2020年6月期2Q	205株	2019年6月期	205株
2020年6月期2Q	6,937,982株	2019年6月期2Q	6,695,539株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢や所得環境の緩やかな改善傾向が続き、景気は概ね堅調に推移しました。一方で、消費者マインドにも回復の兆しが見られるものの、消費税の増税等による先行き不安により、依然節約志向が強く、個人消費は伸び悩む状況が続いております。また、人件費の負担の増加や、米国と中国の政治動向や金融資本市場の情勢等にリスク懸念があり、先行きは不透明な状況で推移しております。

当社が属します食品製造業におきましては、食の簡便化ニーズや健康志向の高まり等新たな需要の喚起もあり、個人消費が底堅く推移していることから販売は安定的な推移となりました。

このような状況のもと、当社は一般消費向け各種豆腐、厚揚げ、おからパウダー等を主力に、九州から中国・四国、関西、東海の各地方に加えて、関東地方でも新商品として販売予定のカット4P豆腐を中心に、積極的な営業を展開し、販売に注力いたしました。

設備面では、富士山麓工場の厚揚げラインの新設が2019年12月に完了し、関東地方への製造、出荷を開始したことにより、製品供給体制の拡充を図りました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における業績は、売上高6,033百万円と前年同期と比べ550百万円(10.0%)の増収となりました。

利益につきましては、運送コストの上昇による荷造運賃の増加、富士山麓工場の一部稼働による減価償却費の増加、富士山麓工場の人件費や光熱費といった固定費負担等の影響もあり、営業利益は225百万円と前年同期と比べ283百万円(55.7%)の減益、経常利益は233百万円と前年同期と比べ277百万円(54.3%)の減益、四半期純利益は162百万円と前年同期と比べ177百万円(52.3%)の減益となりました。

なお、当社は単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりません。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比較して2,871百万円増加し、15,676百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末と比較して685百万円増加し、2,682百万円となりました。これは主に売上高の増加により、売掛金が315百万円増加したことによるものです。

固定資産は、前事業年度末と比較して2,186百万円増加し、12,994百万円となりました。これは富士山麓工場の稼働に伴い、建物及び構築物が1,529百万円増加したこと、富士山麓工場の厚揚げラインが稼働したことにより機械装置及び運搬具が1,154百万円増加したこと等によるものです。

(負債の部)

当第2四半期会計期間末における総負債は、前事業年度末と比較して2,777百万円増加し、9,383百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末と比較して2,523百万円増加し、5,254百万円となりました。これは主に短期借入金が1,750百万円増加したこと等によるものです。

固定負債は、前事業年度末と比較して254百万円増加し、4,128百万円となりました。これは主に長期借入金が255百万円増加したこと等によるものです。

(純資産の部)

当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末と比較して93百万円増加し、6,293百万円となりました。これは主に利益剰余金が92百万円増加したこと等によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物の期末残高は、前事業年度末と比較して86百万円増加し、330百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、486百万円(前年同四半期は728百万円の収入)となりました。

これは、支出要因として売上増加に伴う売上債権の増加315百万円等があった一方で、収入要因として税引前四半期純利益237百万円、減価償却費590百万円等があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は、2,440百万円(前年同四半期は2,581百万円の支出)となりました。

これは、富士山麓工場の建設等により、有形固定資産の取得による支出2,443百万円等があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は、2,039百万円(前年同四半期は1,520百万円)となりました。

これは、長期借入金の返済による支出343百万円、配当金の支払69百万円の支出等があった一方で、短期借入金の純増加額1,750百万円、長期借入れによる収入700百万円等があったことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2019年11月12日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、今後業績予想を見直す必要が生じた場合は、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年6月30日)	当第2四半期会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	299,295	385,352
売掛金	1,442,671	1,757,694
商品及び製品	39,253	40,141
原材料及び貯蔵品	198,157	290,484
その他	17,329	208,399
流動資産合計	1,996,706	2,682,072
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,557,904	4,087,303
機械装置及び運搬具(純額)	3,926,514	5,081,491
土地	2,115,391	2,126,946
建設仮勘定	2,119,921	1,602,602
その他(純額)	17,458	21,747
有形固定資産合計	10,737,189	12,920,091
無形固定資産	6,190	12,930
投資その他の資産	65,244	61,831
固定資産合計	10,808,624	12,994,854
資産合計	12,805,331	15,676,926

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年6月30日)	当第2四半期会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	629,520	912,963
短期借入金	300,000	2,050,000
1年内返済予定の長期借入金	692,661	794,040
未払金	690,165	1,167,917
未払法人税等	148,091	96,130
賞与引当金	8,540	9,553
その他	262,301	223,959
流動負債合計	2,731,280	5,254,563
固定負債		
長期借入金	3,758,213	4,013,315
繰延税金負債	109,849	109,905
その他	6,107	5,401
固定負債合計	3,874,169	4,128,622
負債合計	6,605,450	9,383,185
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,215,556	1,217,572
資本剰余金	1,188,556	1,190,572
利益剰余金	3,773,112	3,866,027
自己株式	△443	△443
株主資本合計	6,176,782	6,273,728
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△341	△212
評価・換算差額等合計	△341	△212
新株予約権	23,440	20,225
純資産合計	6,199,881	6,293,740
負債純資産合計	12,805,331	15,676,926

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年7月1日 至2018年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自2019年7月1日 至2019年12月31日)
売上高	5,482,848	6,033,462
売上原価	3,952,166	4,599,727
売上総利益	1,530,681	1,433,734
販売費及び一般管理費		
荷造運賃	477,748	598,318
広告宣伝費	7,488	7,556
販売手数料	353,307	403,480
給料及び賞与	83,669	93,090
賞与引当金繰入額	1,055	1,212
減価償却費	2,500	2,259
その他	96,423	102,755
販売費及び一般管理費合計	1,022,193	1,208,673
営業利益	508,488	225,061
営業外収益		
受取利息	19	5
受取配当金	43	52
助成金収入	17,825	6,599
自動販売機収入	2,607	2,658
受取補償金	—	1,972
保険解約返戻金	—	6,317
その他	3,140	4,244
営業外収益合計	23,635	21,849
営業外費用		
支払利息	12,290	13,054
株式交付費	8,984	—
その他	589	676
営業外費用合計	21,864	13,730
経常利益	510,259	233,180
特別利益		
新株予約権戻入益	—	4,538
特別利益合計	—	4,538
特別損失		
固定資産除却損	4,885	—
特別損失合計	4,885	—
税引前四半期純利益	505,373	237,719
法人税等	165,137	75,446
四半期純利益	340,235	162,273

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年7月1日 至2018年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自2019年7月1日 至2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	505,373	237,719
減価償却費	497,063	590,646
賞与引当金の増減額(△は減少)	742	1,013
受取利息及び受取配当金	△62	△58
支払利息	12,290	13,054
株式交付費	8,984	—
固定資産除却損	4,885	—
新株予約権戻入益	—	△4,538
売上債権の増減額(△は増加)	△233,550	△315,022
たな卸資産の増減額(△は増加)	△58,986	△93,215
仕入債務の増減額(△は減少)	155,433	283,442
未払金の増減額(△は減少)	86,905	148,888
未払又は未収消費税等の増減額	△62,270	△219,782
その他	△6,224	△22,084
小計	910,584	620,061
利息及び配当金の受取額	62	58
利息の支払額	△12,342	△11,718
法人税等の支払額	△169,741	△121,505
営業活動によるキャッシュ・フロー	728,563	486,895
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,015	△4
有形固定資産の取得による支出	△2,575,252	△2,443,392
無形固定資産の取得による支出	△929	△8,032
投資有価証券の取得による支出	△328	△331
その他	△2,345	11,026
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,581,872	△2,440,734
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	100,000	1,750,000
長期借入れによる収入	800,000	700,000
長期借入金の返済による支出	△340,686	△343,519
自己株式の取得による支出	△237	—
株式の発行による収入	1,038,940	—
株式交付費の支出	△8,984	—
リース債務の返済による支出	△5,108	△1,404
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	4,032
配当金の支払額	△63,788	△69,216
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,520,134	2,039,891
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△333,173	86,052
現金及び現金同等物の期首残高	551,848	244,232
現金及び現金同等物の四半期末残高	218,674	330,284

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。